

みなとしみず

国土交通省中部地方整備局
清水港湾事務所
御前崎事務所/下田事務所/田子の浦事務所
静岡市清水区日の出町7番2号
TEL. 054-352-4146(代表)
<http://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>

佐々木 純 事務所長着任のご挨拶

6月1日付けで清水港湾事務所長を拝命しました。どうぞよろしくお願いいたします。

まず初めに、東日本大震災でお亡くなりになられた方々に対し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。また、被災された皆様にお見舞い申し上げますとともに、一日でも早い復興を心よりお祈りいたします。今回の大震災を踏まえ、現在、我が国の防災のあり方について見直しが行われているところであり、今後当事務所としても、港湾における必要な対策について取り組んでまいり所存です。

着任後、静岡地域の港湾関係者の皆様にご挨拶させていただく中で、皆様の港湾に寄せる熱い想いをひしひしと感じているところです。また、日本を支える「ものづくり」地域である静岡県（製造品出荷額が愛知県に次いで全国第2位）の産業物流を担い、国難ともいえる地震・津波に対する防災の拠点としての役割を担い、さらにはウォーターフロントにおける観光振興の場など、港湾が地域さらには日本に対して担っている役割の大きさをあらためて実感しているところです。このように重要な社会基盤である港湾について、直面するさまざまな課題に対して、関係者の皆様と共に、微力ながら全力で取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

豊かな自然、歴史、文化に恵まれたここ静岡県において勤務させていただくことに感謝し、さらなる地域の発展に資するようがんばりますので、皆様のご指導をよろしくお願いいたします。



(佐々木 純 所長)

転任のご挨拶

国土交通省 港湾局 技術企画課 建設企画室長 奥田 薫
(前 清水港湾事務所長)

6月1日付け異動により清水港湾事務所長退任となりました。静岡県の港湾運営・整備に関わる皆様には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

2年2ヶ月間の勤務を振り返りますと、就任間もなく21年度の大規模津波防災総合訓練が清水港で開催されその翌月に静岡沖地震、勤務の終盤には東日本大震災が発生し、また半ばにおいてクレーン逸走事故が発生するなど、危機管理対応を考える機会を多数与えられたことで、港湾の信頼性を高める取り組みが事務所業務にとって一大テーマとなりました。静岡県が策定した駿河湾港アクションプランにおいて港湾BCPの充実・拡大が明示されたことで、県と国が一致協力して信頼性の高い港湾運営を実現していく方向性が示されたと認識しています。

私は異動になりましたが、清水港湾事務所は引き続き危機管理対応の充実にも取り組んで参ります。後任ともども今後ともよろしくお願いいたします。

御前崎港開港40周年記念式典が開催されました

平成23年5月26日に「御前崎港開港40周年記念式典」が、川勝静岡県知事、石原御前崎市長ら地元関係者出席のもと、御前崎港西ふ頭国際物流ターミナルで開催されました。

御前崎港は、新2号機コンテナクレーンが4月より稼働し、外航定期航路も現在のインド・パキスタン航路および日中シャトルフィーダー航路に加え、6月からは日韓フィーダー航路の週3便が就航します。

このことを川勝知事は、中国の古事に準え『1から2に増えるときは一時ですが、2から3に増えれば永遠に持続する。また背後地には新東名高速道路、国道150号バイパス、国道473号バイパスの建設が促進されるとともに、富士山静岡空港、東名相良・牧ノ原インターチェンジの開設など陸・海・空の高速ネットワークとの連携が実現することから工業団地の整備などの経済発展のためのインフラ整備が着々と進み、県中西部の物流を担う多目的流通港湾として御前崎には大きな期待が寄せられています。』と祝辞を述べられました。



《式典当日の様子》



《4月より稼働した新2号機コンテナクレーン》

清水港フラワーショー&インポートバザール2011に出展しました

平成23年5月21日(土)22日(日)に静岡市内の清水マリンターミナルで「清水港フラワーショー&インポートバザール2011」が開催されました。

このイベントは、花や地場産野菜などの即売のほか、ワイン、衣料品などヨーロッパや南米からの輸入商品を扱うブースなども並び、清水港の貿易振興を目的に開催されています。

当日は当事務所もパネル展示、パンフレット配布などを通じて港湾整備事業の紹介を行いました。特に今回は、地震コーナーを設置して「東日本大地震の津波映像公開」や「液状化現象」について説明を行ったところ、来場された方々からたくさんのご意見や感想などをいただくことができ、皆様の津波や地震に対する関心の高さを改めて感じることができました。

当事務所では、今後も引き続き地域の方々の声をお聞きしながら港湾行政に取り組んで参る所存ですので、よろしく願い致します。



《2日間で約1万2千人の方が来場されました》



《液状化現象について説明を行いました》

海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル

おーいに よくなれ みなと

0120-497-370

受付時間: 9時30分~12時、13時~17時(土・日、祝祭日は除く)
☆携帯電話・PHSからもご利用できます☆

- ・海やみなとの利用に関すること
- ・総合的な学習時間に関すること
- ・みなとの構想や計画に関すること
- ・海洋土木技術に関すること
- ・みなとの防災に関すること

その他、海とみなとに関することは何でもお問い合わせください

■本紙に関するお問い合わせ先■

清水港湾事務所 企画調整課

白崎・板谷 Tel. 054-352-4148

ご意見ご感想をお寄せ下さい。

shimizukouwan@pa.cbr.mlit.go.jp